

第 53 期決算公告

東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号
株式会社バンカーズ
代表取締役 廣津 朋憲

貸借対照表 (2026年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,085,519	流動負債	1,983,294
現金及び預金	12,669	顧客からの預り金	1,937,778
預託金	1,937,778	未払金	15,535
その他	135,070	未払法人税等	950
固定資産	2,240	その他	29,030
有形固定資産	1,904	負債合計	1,983,294
工具器具備品	11,274	(純資産の部)	
減価償却累計額	△ 9,369	株主資本	104,466
無形固定資産	244	資本金	100,000
ソフトウェア	244	資本剰余金	2,312,630
投資その他の資産	92	資本準備金	1,065,000
関係会社株式	92	その他資本剰余金	1,247,630
		利益剰余金	△ 2,259,864
		利益準備金	28,630
		別途積立金	140,000
		その他利益剰余金	△ 2,428,494
		繰越利益剰余金	△ 2,428,494
		自己株式	△ 48,300
		純資産合計	104,466
資産合計	2,087,760	負債・純資産合計	2,087,760

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

工具、器具及び備品 4～15 年

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な償却年数は次のとおりであります。

ソフトウェア（自社利用分） 5 年

(2) 重要な収益及び費用の計上基準

① 貸付利息収入

貸付利息収入は、発生主義に基づき計上しております。

② 融資事務手数料収入

融資事務手数料収入は、主に当社が融資を実行した際に融資先より受領する手数料収入であります。融資実行時に対価を受け取る場合は、融資実行時点を履行義務の充足時点とし、当該融資実行時の手数料に基づいて収益を認識しております。融資先からの返済時に対価を受け取る場合は、当該手数料は実質的に貸付期間にわたって役務が提供されると捉え、貸付期間の経過に応じて収益を認識しております。

③ 募集取扱手数料収入

募集取扱手数料収入は、主に当社が募集するファンドについて、営業者から受領する手数料収入であります。ファンド成立時に収益を認識しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

普通株式 167,400 株

(2) 配当に関する事項

① 配当金支払額

該当事項はありません。

② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。

(3) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首株式数 (株)	当事業年度 増加株式数 (株)	当事業年度 減少株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
普通株式	167,400	-	-	167,400

(4) 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首 株式数 (株)	当事業年度 増加株式数 (株)	当事業年度 減少株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
普通株式	4,300	-	-	4,300

3. 収益認識に関する注記

(1) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

	当社帰属分 (千円)	ファンド帰属分 (千円)
貸付利息収入	8,503	28,196
融資事務手数料収入	5,782	—
募集取扱手数料収入	331,866	—
変動対価	△22,477	
その他	3,253	7
顧客との契約から生じる収益	326,928	—
その他の収益	—	
外部顧客への売上高	326,928	28,203

(2) 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、計算書類「個別注記表 (1. 重要な会計方針に係る事項) (3) 重要な収益及び費用の計上基準」に同一の内容を記載しているため、注記を省略しております。

4. 1 株当たり情報に関する注記

- (1) 1 株当たり純資産額 640 円 50 銭
(2) 1 株当たり当期純利益 264 円 67 銭

以上